

令和8年度



美濃源氏フォーラム 事業案内

岐阜県芸術文化奨励受賞事業
岐阜県生涯学習事例発表事業
岐阜県パイロットイベント表彰事業
瑞浪市文化功労賞受賞事業

2026
Since1991

美濃源氏土岐氏研究講座

6月6日(土) 13時30分～15時00分
開始時間の30分前から受付
ホワイトスクエア2F
瑞浪市寺河戸町1238-2

講師：中島茂氏 土岐市美濃陶磁歴史館学芸員
演題：「発掘された領主の館
—妻木平遺跡が語る中世の実像—」

美濃源氏土岐氏研究講座

10月3日(土) 13時30分～15時00分
開始時間の30分前から受付
ホワイトスクエア2F
瑞浪市寺河戸町1238-2

講師：船戸忠幸氏 岐阜県文化財保護協会副会長
演題：「土岐頼芸家臣、船戸氏の興亡
—伝承と伝説と真実の狭間で—」

明智光秀顕彰会総会参加研修旅行

6月13日(土)～14日(日)
出発：8:00 ホワイトスクエア集合・養老SA他可

【行程】
ホワイトスクエア発 → 大阪堺の妙国寺(本能寺の変、家康宿泊地) → 千利休生誕地関係地巡り → 利島の杜(千利休と与謝野晶子の記念ミュージアム) → 生國魂神社 → 導善寺 → ホテル泊
ホテル発 → 西教寺—明智光秀公顕彰会総会(講師 藤田達生 三重大学名誉教授) → 帰路

【会費】
乗用車乗り合せて金額実費割勘
顕彰会の会員以外は当日総会参加会費千円

今回の松尾芭蕉書状は、2月24日(火)にテレビ東京「開運！なんでも鑑定団」にて放映され、増田孝氏(愛知東邦大学客員教授)により真筆と断定されたものであり本邦初公開となります。小生が知り合いから買い求めましたが、真贋が分からないからと15万円で購入した書状に800万円の評価が付けられました。

第36回美濃源氏フォーラ2026 —土岐源氏発祥地に鷹が現れた—

8月8日(土) 13時30分～15時30分
瑞浪市総合文化センター3F講堂
瑞浪市土岐町7267番地の4

講師：吉田流、鷹匠 伏屋典昭氏
演題：「実現、土岐鷹の夢—鷹を目の前で見ませんか」



美濃源氏土岐氏研究講座

12月5日(土) 13時30分～15時00分
開始時間の30分前から受付
ホワイトスクエア2F
瑞浪市寺河戸町1238-2

講師：坪内綾子氏 鎌倉国宝館学芸員
演題：「円覚寺領としての篠木荘」

美濃源氏土岐氏一族慰霊祭

9月20日(日) 8時30分集合
10時00分～14時00分
一日市場館跡八幡神社境内
瑞浪市土岐町402

清掃：土岐光衡公銅像と明智光秀公石像と看板
茶会：武家茶道式正織部流 土岐氏発祥地茶会
八幡神社社務所内にて
茶掛：松尾芭蕉書状俳句二句付
会費：正会員は無料・一般会費1500円 御菓子付

美濃源氏土岐氏研究講座

2月6日(土) 13時30分～15時00分
開始時間の30分前から受付
ホワイトスクエア2F
瑞浪市寺河戸町1238-2

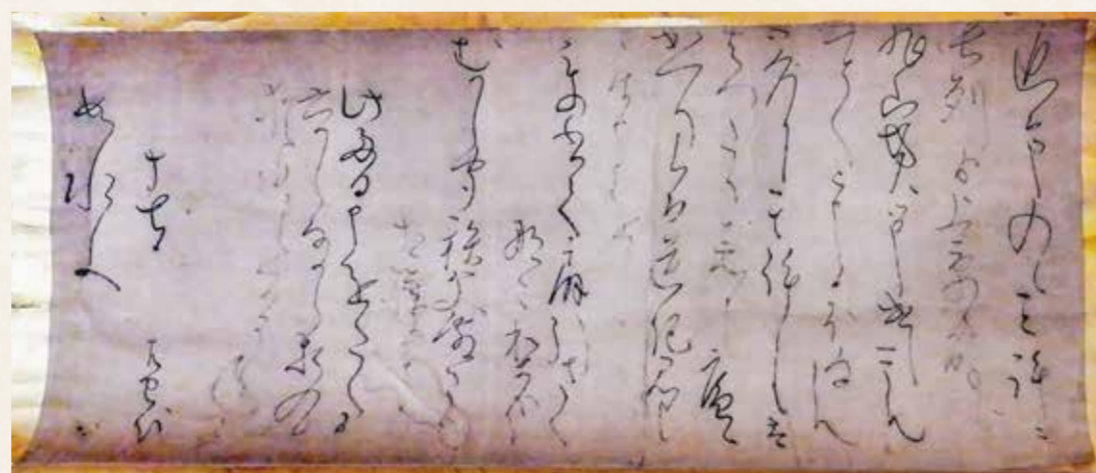
講師：前川辰徳氏 横芝光町教育委員会社会文化課学芸員
演題：「慈妙上人と篠木荘の密蔵院
—常陸・比叡山・美濃・尾張の高僧—」

第36回美濃源氏七夕まつり花火大会

8月8日(土) 18時30分～20時00分
土岐川沿い花火打上を眼下で鑑賞
(造り酒屋の若葉裏口付近)

御客：作家 井沢元彦氏(逆説の日本史など)
宴会：「今宵は姫と肴と美酒で無礼講、娑婆羅の宴」
会費：5000円(懐石弁当と若葉清酒3銘柄呑み比べ)

《松尾芭蕉真筆書状俳句二句》



(所蔵者 井澤康樹 複製禁止 要許可)

特に、俳句が自筆で二句書かれており、「奥の細道」にある『物書て扇引きさく余波哉』と「芭蕉庵小文庫」にある『昔聞け秩父殿さへ相撲とり』は、この書状そのものが初見ではありますし、芭蕉の自筆の俳句としても稀少であり大発見となりました。今後も、式正織部流茶会などや松尾芭蕉関係地での公開も進めます。

【募集要項】

会 員 / 正会員8000円(全講座受講料含む)、準会員2000円 ※共に令和8年度講義録を含む
当 日 / 一般当日会費1500円(中学生以下無料・高校生大学生1000円)
振 込 / ゆうちょ銀行振替番号 00820-3-69557 口座名義：美濃源氏フォーラム事務局本部
申 込 / 090-5108-8374 井澤(ショートメール可) mino-tokiichizoku@docomo.ne.jp

●主 催：美濃源氏フォーラム事務局本部 岐阜県瑞浪市寺河戸町1238-2 TEL(0572) 68-3143
●後 援：株式会社井澤商店・武家茶道 式正織部流 岐阜県教室